

高齢者と地域の自律を引き出す サービス付き高齢者向け住宅

日時 2016年9月24日(土) 13:30～17:00

場所 都市住宅学会 (東京都千代田区富士見 2-1-2 ステージビルディング 7F 会議室)

参加費 無料(会員・非会員とも)

サービス付き高齢者向け住宅は、この5年間で急ピッチな建設が進み、サービスの質が供給に追いつかず玉石混合の状態にあると指摘されている。また、地域差が大きいなかで、業者広告、週刊誌等の記事・報道は多くみられるが、学術的な研究に基づく客観的な情報が少なく、正しい実態が市民に伝わっていない。

今回のシンポジウムでは、これまでの研究蓄積を踏まえて、①建設が進むサービス付き高齢者向け住宅のハードの実態と住宅ストックとしての課題、②サービス付き高齢者向け住宅の入居に際して、高齢者やその家族がどのような点に留意すべきか、特にどのようなハードやソフトであれば、入居後、自律を維持できるのか、③サービス付き高齢者向け住宅の建設時に際して、地主が契約上、留意すべき点、④地域マネジメントの観点からみた介護保険サービスの利用にみられる課題、⑤サービス付き高齢者向け住宅に頼らない自助・互助の仕組みについて、研究者、法律家、事業者、NPOがそれぞれの立場から報告するとともに、パネルディスカッションを通じて地域包括ケアのなかでサービス付き高齢者向け住宅をどのように位置付けるべきか、議論を深めたい。

●Presenters

ご挨拶 高田光雄 (都市住宅学会 会長 / 京都大学大学院工学研究科 教授)

趣旨説明 三浦 研 (京都大学大学院工学研究科 教授)

●サービス付き高齢者向け住宅のハードの課題：山口健太郎 (近畿大学工学部建築学科・准教授)

●サービス付き高齢者向け住宅における長期サブリース契約の問題：山口心平 (山口心平法律事務所・弁護士)

●事業者協会からみたサービス付き高齢者向け住宅の課題：本吉則夫 (サービス付き高齢者向け住宅協会・事務局長)

●サービス付き高齢者向け住宅の質をめぐる課題：絹川麻理 (高齢者住宅研究所 研究員)

●身体機能の自律維持からみたサービス付き高齢者向け住宅の課題：辺 美礼 (理学療法士)

●サービス付き高齢者向け住宅に頼らない自助・互助の仕組みづくり：池田昌弘
(NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター・代表)

●パネルディスカッション

「地域包括ケア時代に求められるサービス付き高齢者向け住宅：高齢者と地域の自律を引き出すために」

パネリスト 山口健太郎 / 山口心平 / 本吉則夫 / 絹川麻理 / 辺 美礼 / 池田昌弘

コーディネーター 三浦 研

●お申し込み

*下記までご所属、氏名、連絡先を記載したメールまたはFAXにてお申し込み下さい(複数名の場合は全員の氏名をご記入下さい)。

*受講票は特にお渡ししません。当日の会場受付も可能です。

●お問い合わせ

公益社団法人 都市住宅学会事務局

e-mail: t-info@uhs.gr.jp FAX:03-5211-1425, TEL:03-5211-0597

●インターネットによる実況中継 (Ustream)

当日、<http://www.ustream.tv/channel/uhs-20141025> (予定) をご覧ください。※確定したアドレスは都市住宅学会ホームページ <http://www.uhs.gr.jp> のトップページお知らせ欄にリンクを設定します。

●アクセス

